



HAPPY HEART 会報

NO.59 平成 21 年(2009)12 月 15 日

発行 多摩スクエアダンスクラブ (ハッピーハート)

〒206-0822 稲城市坂浜 3173-3 中村 禮子 方

TEL&FAX : 042-331-0711 E-mail: rei-n@mtc.biglobe.ne.jp

関東甲信越支部のクラブスタッフ研修会に参加して

会長 中村 禮子

9月20日に開催された、関東甲信越支部のクラブスタッフ研修会に、副会長の杉本さん、羽鳥さん、広報部長の三枝さん、の4人で参加してきました。得るところが多かったので、うちのクラブと照らし合わせて考えてみました。午前中は、以前に行われた「クラブ実態把握調査」に基づき、そこから今スクエアダンス界に何が起きているのか、武田さんからの分析報告がありました。支部のクラブの平均会員数は38人、会員数は思ったより増えず、1クラブ4.8人入会していますが、3.7人退会しています。私たちのクラブでも大体同じような状況です。会員数を増やすにはどうしたら良いか。これが今回の大きなテーマです。それぞれのクラブが危機意識を持つこと、工夫された取り組みが望まれています。

まず一番の課題は、新人会員を増やすことです。午後の部で四つのクラブから報告があり、いろいろな取り組みが紹介されました。会員のロコミはやはり一番入会が多く、そしてミニコミ紙の利用、地域への各種イベントへの参加、小中学生への取り組み、地域活動への協力などがあげられました。小中学生への取り組みや地域との連携は、私たちのクラブでも、積極的に考えていく必要があると思いました。

会員の退会については、高齢化によるもの、家族への介護などで50パーセント以上になっています。私たちのクラブでも体のどこかに悩みを持つ人が増えてきました。スクエアダンスは80歳まで踊れるダンスです。どこか痛みを抱えながらもマイペースで長く続ける。それが健康を保ち人生を楽しく生きる秘訣です。周りの人たちが、心や体の痛みを持つ会員たちに、理解や思いやりを持つことが大事だと思います。スクエアダンスを通じて出会った仲間です。その出会いをお互いに大切にしましょう。

長くダンスを楽しんでいくために、例会を楽しくする工夫や、コーラーの育成などもあげられていましたが、ハッピーハートではその辺は皆さんの努力で、楽しい例会になっていると思います。

何と言っても、課題は新人の入会、今回の調査結果からいうと、5人入会しても、1人しか増えません。入会者がいなければ、仲間は減る一方です。秋のビギナー講習は悲しい結果でしたが、ビギナー講習を春に持ってくるという切り替えで、リベンジです。皆さんのロコミと、PRアイデア、そして研修会でいろいろ教えていただいたチラシづくりの工夫、私たちのクラブが今地域で、どのようにおかれているかなど、状況分析をしっかりと行いながら、みなで一緒に仲間を増やしていきましょう。

21年度踊り込み研修会 (2009年11月3日・祝) 於: むさし府中商工会議所

“うれしい里帰り”

講師: むさしの練馬SDC 中島昭寿

この度は、踊り込み研修会にお招きいただきありがとうございました。コールしながら、かつては会員として皆さんと一生懸命活動してきたことを思い出して、懐かしい気分になりました。

ハッピーハート創立2年目に縁あってお世話になることになった時、私はまだ20代、結婚したばかりでした。もちろん髪の毛もフサフサでした。当時のハッピーハートは、創立者でありメインコーラーの梅津さんが北海道に帰ってしまうという未曾有の危機に陥っていました。詳しい経緯をお話すると、それだけで特集号ができるほどになってしまいますので省略しますが、私がたまたま近所に住んでいたのが運の尽き、いや幸いしてお手伝いすることになり、やがて仲間にしていただくことになりました。越谷の辻田さんが新人コーラーとして勉強を始めたのもその頃です。その時のハッピーハートが「川崎ハッピーハート」と名乗り、所属もS都連ではなく、神奈川県連だったことを知っている方、どれ位いらっしゃいますか？

今回の研修会の会場だったむさし府中商工会議所のホールも、懐かしい場所です。ハッピーハート3rdアニバーサリーからかなり長い間パーティーの会場として使用しました。来年2月のラディッシュフィールド10周年記念パーティーの前日祭にこの会場を使用することになったとき、運命的なものを感じました。思い出話はこれ位にします。

この研修会にはかつて一緒に活動した方々よりも、あまり存じ上げない会員の顔が目立ったような気がします。離れてから10年以上経ったのですから当たり前です。いつまでも、過去の繋がりばかり意識したお付き合いでは、私自身が過去の人になってしまうなあ、と思ったりしています。

これからは、ハッピーハートとラディッシュフィールドの新しい未来を創るためにがんばろう、なんてカッコいい事を考えているこの頃です。

『ハッピーハートグループフェスタの開催に向けて』

講師: むさしの練馬SDC 奥村稔明

このたびは多摩ハッピーハートさんの研修会に講師としてお招きいただきまして誠にありがとうございました。わたくしもハッピーハートさんグループのむさしの練馬SDCにお世話になり7年目に入ります。まさにラッキー7のセブンでして今年の4月には正会員として仲間に加えさせていただきました。

さてこのたびの合同研修会の試みはとても良かったと思います。それは技術の向上以上に人と人のつながりが増したことです。なんと言っても人生は人間関係です。一人では人間は生きられませんし必ず何らかの形で私たちは周囲の方々の知らぬうちの支援をいただいて生活しているわけですからどうせ支援をお互いにするならば気心の知れた友人・友波長の合った友人と助け合う喜びを分かち合う。そして楽しむことがみなハッピーにつながるのではないのでしょうか。

わたくしはハッピーハートグループ(以下HHGと略します)の本家であり、中村会長の率いる多摩ハッピーハートSDC旗艦として、是非一度HHGのフェスティバルの開催をご提案したいと思います。

家族は社会国家を形成する組織としての最小単位です。多摩 越谷 川崎 静岡 練馬 のハッピーハートファミリーが近隣の方々をおよびして一同に会して行うパーティーはとても意義深いことだと思います。

(次ページに続く)

きっとこれらの試みはスクエアダンスの楽しさと家族 ファミリーの絆の大切さを教えてくれることでしょう。そしてスクエアダンス人口の増にもつながって行くと思います。楽しいことには人が集まります。楽しい人が集まれば自然にクラブも楽しくなり是非次回のビギナーコースには友達を連れてこよう 紹介しよう そして自分の友達を増やそうにつながっていきます。ここでとても重要なのはそれを司るリーダーの役目です。とりわけ会長の一挙手一投足はクラブ運営にもろに影響してきます。会長も人間ですから(※今お話していることは一般論ですの
 でどうぞよろしく)完全無欠はありません。そこを周りの役員 会員がサポートすれば良いのです。それぞれの持ち味を生かし、私たちが選んだ会長 リーダーを助けていきましょう。

会長職とはわれわれの目に見えないところでいろいろご苦労をされています。良い会長は良い役員 良いクラブ員とのよきコミュニケーションによって良いクラブへと更に発展していくと思います。

多摩ハッピーハートのみなさま ほんとに ファミリーフェスティバルを企画しましょう。そしてこれからも むさしの練馬SDC ラディデュフィールドをよろしく お願いいたします。



講師の中島、奥村氏

———— 研修会に参加して ————

むさしの練馬SDC 留田 由紀子

何年振りだろう、親しい知人のパーティーに参加した時以来である。東府中駅に着いてふと思った。遠い昔の事ではない。駅前の交番もコーヒーショップもそのままなのに、なぜか懐かしい気がした。

「ねえ、私みたいに踊れなくても参加していい？」
 「勿論よ」踊り込み研修会に参加するきっかけとなった会員との会話である。紅葉前線がずいぶん南下し、行楽シーズンまっただなかの11月3日、「お弁当用意しなくていいのは楽よね」等々、好き勝手な事を言いながらの参加。午前中は難しい動きを二人のコーラーさんに教えていただき、おぼろげではあるがマスターできたように思う。欲を言えばこういう学ぶ機会がもっとあれば、と思う。楽しい昼食も私達女性にとって、ちょうど良いボリューム。お皿に盛られた果物や香の物、心遣いに感謝である。

午後からは、多彩な顔ぶれのコーラーさんによるパーティー形式。いつもはなかなか聴くことのできないコーラーさんもいて、会場に響く新鮮な声と一生懸命な姿に、前半の疲れが出て来たところだったが、こちら「頑張らなくちゃ」と発奮。4時過ぎ、会場を出て駅に向かう。「来年の2月 20 日はここで前日祭・・・成功しますように」と願いながら、うっすらと汗をかいた身体に、秋の風を心地良く感じながら帰路についた。

..... スクエアダンスと出会って

川崎ハッピーハート 松崎 博子

「老後は長い、趣味は 60 歳までに」と友人から言われ、去年の5月にギリギリの 59 歳で、このスクエアダンスに出会いました。

最初の3回目ぐらいまでは、英語もわからない、踊り方もわからない、「プラマネイド」とコールされるとほっとしたものです。クイズのようでした。崩れないでおどれると楽しくなり、例会が待ちどろしくなりました。また、コスチュームも作り、自宅で試着していると、夫と娘には「気でもくるったのか」と言われましたが、パーティーに行くと「みんなで着れば怖くない」と思い、青春時代に戻ったようでした。

今回の踊り込みはMSが判ってきたところだったので、とても勉強になりました。こんなに奥が深いとは。最初から最後まで踊りっぱなしで、充実した1日でした。お弁当もシュークリームもスナックもおいしく、年に数回していただければと思います。また次回を楽しみにしています。



.....踊り込み研修会に参加して.....

クラブ員 渡辺 るり子

2009年11月3日、文化の日。私はとっても 素敵な1日を過ごしました。 スクエアダンスと初めて出会った時、コールに合わせて隊形が変化していくおもしろさに魅せられて、初心者講習会に参加を決めました。私はどちらかというとのんびりタイプなので、細く長くがモットー、なんて勝手に決め込んでダンスをしていました。

気が付くと何年もたっていて、そこで今年は一発奮起。パーティーにも進んでいくことにしました。行ってみると、たくさんの人に気後れしたり、毎回いつセットをこわしてしまうかとひやひやして、楽しむどころか疲れるばかり。でも何度か続けるうちに自分の苦手や理解していないコールが見えてくるように思えました。

そんな折、ラディッシュの皆様や川崎 HH の皆様においでいただいて踊り込み研修会が開かれました。私のために?!とってしまう程、講師の奥村さん、中島さんが聞きたかったことを次々と教えてくださいました。繰り返し且つわかりやすく! 「お二人の声、すてきね」パートナーの方がうっとりささやいてくれるまでそんな重要なことにも気づかないくらい、私は必死だったようです。

こんな風に私は秋の1日、これからもダンスを続けたいと感じる素敵な日を過ごしましたが、参加されたすべての皆様 に感謝しています。そしてお疲れ様でした。



-----初めての踊りこみ研修会-----

クラブ員 松井 由紀子

11月3日(祝) むさし府中商工会議所会館で踊りこみ研修会がありました。参加者は ラディッシュ フィールド、川崎ハッピーハート、ゲスト コーラー 合わせて81名の参加でした。コーラーは奥村さん 中島さん をお招きいたしました。

私は踊りこみは初めての経験です。皆さんが仕事を分担している中でただ何をして良いのかわからず、当日のお手伝いでした。会場には早めに行ったものの、もう皆さんが始めているのでびっくりしました。市の会場が開くのはぎりぎりまで待っていましたが、さすが民間です。会場が明るいので大変気持ちの良い会場でした。人数と会場のバランスが良かったのでのびのびと踊る事ができました

午前中は多摩ハッピーハートの金子さん 尾崎さん 市村さん 中村さん 羽鳥さん達もコーラーとして舞台に上がり、輝いて歌っていただきました。踊りこみと言うとおり、新しく覚えた踊りや、あまり踊っていないのが出てきた時には反省させられました。何回も指導して頂き本当に勉強させて頂きました。

午後は奥村さん 中島さん 金子さんの3人のコーラーにしばれる程でした。踊りながらコンサートに来ている気分で、なんとも言えない気持ちでした。気になったのは、最初の頃、ラディッシュの女の方が男の方が少なくて座っておられました。私は積極的に他のクラブの男の方に御願いをして踊って頂きました。皆さん私の DoSoDo のバッヂをみて気持ち良く踊ってくださり感謝です。

最初 奥村さんのネイティブなコールが聞きとりにくく、慣れる内によく踊れる様になりました。この事が、いろいろなパーティーに参加してコーラーの歌に慣れる事と、皆さんが言われている事だと思いました。踊り込みのようなパーティーが、たくさんあると良いなおもいました。

多摩ハッピーハート 21 年度前半のメイン行事である『踊り込み研修会』が 11 月 3 日(祝)にむさし府中商工会議所で行われました。講師は、姉妹クラブむさしの練馬SDCの中島昭寿、奥村稔明氏にお願いし午前中はお二人による講義、午後は多摩 HH クラブコーラーも参加してのパーティーで盛り上がりました。参加者数は講師 2 名+練馬 31 名+川崎 9 名+多摩 38 名+他1=81 名と多数のダンサーでした。有難う

クラブ員よりの寄稿：青春時代

私とスクエアダンス

副会長 杉本 泰子

スクエアダンスに最初に出会ったのは15歳、高校1年生の夏の宵でした。

高校生活が始まり初めての夏休み部活に励んでいた帰り道、社会人の先輩から楽しいダンスがあるから行って見ないかと誘われなんとなくついて行ってそのまま輪の中に入ってしまい1回目の講習を受けてしまいました。とても楽しいダンスでやってみたいなあ

その時の場所は大田区の大森で会場名は今でも分からずただ、屋根付きの野外だったような気がします。照明が薄暗かったが軽快な音楽(薫の中の七面鳥?)に自然に身体が動きたくなくなってしまったような気がした。何しろ今から半世紀以上前の昔のことである。

当時、私は小、中学校は陸上の短距離選手で身体を動かすことが大好きなおてんば娘であった。各校対抗リレー大会で足に大怪我をしてその怪我が原因であきらめることとなり高校では卓球部、文芸部に所属曜日の異なる部活に打ち込んでいた。そんな時スクエアダンスに誘われ楽しさを知り父母に相談したところ公務員の(都庁勤めの超堅物)厳格な父が女の子が夜遊びするのは不良のすることだと激怒してそれ以来スクエアダンスとは無縁のものになってしまいました。その後何十年か過ぎたまたま「いなぎ広報」でスクエアダンスの募集をみて当時の金子会長宅にお電話をかけてまず何歳くらいの人たちがやっているのか年齢が一番気になりました。「会長は20代から70代まで幅広く楽しんでますよ。」丁寧に答えてくれました。それなら私にもできるかな～？その時すでに大正琴を始めようと買ったばかりでしたがそちらは年をとっても自己流で楽しめば良いとスクエアダンスに入会しました。夫が単身赴任中で娘と二人の生活で夜出かけるのには都合の良い時間でした。ビギナー講習は11名過去最高とか、コーラーの先生は尾崎さんと金子 Jr さん。大変だったけど楽しかった！？それから18年の間大病を2度もしたり長期に渡り休会したりいろいろありましたが、今はそれぞれの事情で退会され同期生は川崎ハッピーハートの六笠さん、久ぶりに復帰されました佐藤さんの3名です。長きにわたり続けてこられたのも会員の皆さんの温かい心に支えられ楽しく踊ってこられたことに感謝いたします。これからも身体の続く限りつづけていこうと思っています。どうぞ宜しく願い致します。最後に私のビギナー当時の感想を短歌にしたものです。

☆またひとつ楽しみ増えしサークルの火曜の宵よ心晴れやか☆

特別企画 多摩ハッピーハートの歩み 第3回

ハッピーハート創設期の思い出

クラブ員 織田 泰

私は、違った点から多摩HHの歩みについて書きます。もう私は、SDを始めて、30年経ちます。今いるクラブ員はムカーシの情けないことは知らないと思います。初代会長梅津さんの頃、梅津さんもマイクを持ち、同時に踊っていることがしばしばありました。8人集まらない時は、かならず出る言葉が、お茶でも飲みましょうか?ということでした。ばらくして、梅津さんが北海道へ行く頃、今の稲城第二文化センターを見つけ、そこである程度のコールのやり方の勉強会をしていたことも思い出します。そのころ、梅津さん、辻田さん、金子茂前会長と私で勉強会をやっていました。(次ページに続く)

ここまではよかったですのですが、梅津さんが北海道へ戻ってからまた、HHとしては苦しい時代になりました。SDの世界を全然知らない人ばかり残ったので大変でした。アンプなどは、梅津さんに借りてやっていたのですが、コールのやり方を、最初に辻田さんが行って勉強してきて、どうにか少し世界がわかってきました。

それまでは、私のことは、横において言いますが、いろんなパーティーに行っても、なかなか思うように踊れず、苦勞をしました。こういう歴史からも、初代会長梅津さんが引越すときまでに、困らないようにと稲城第二文化センターを見つけてくれたので、クラブも存続してるのだと思います。

梅津さんは、リーダーの一人だったので、後を困らないよう例会場を見つけてくれたのだと思います。こういった苦勞があったので今は、たくさんのコーラーが誕生しました。尾崎さん、金子 Jr、川崎 HH の六笠さん、静岡 HH の篠ヶ谷さんなど。また、この中に出てきていませんが、当時東京 SD の中島さんにはいろいろ教えていただき助かりました。私がちょっと SD がうまくなったと感じたのは、中島さんのコールでした。非常に判り易く助かりました。中島さんは、かなり長いあいだ多摩 HH に助っ人に来てくれていました。こういうことから多摩 HH は、稲城第二文化センターが元だと思っています。今いる人たちに、SD の勉強を続けてもらいたいと思います。今は、詳しい人がいっぱいいますので、皆さんは幸せだと思います。

プラス例会 この頃

広報担当 三枝 京子

パーティーでプラスを踊れるようになりたい、多摩ハッピーハートでプラス講習会を！との願いが叶えられ、講習会が始まったのが、2005年4月。市村さんの指導のもと、毎月隔週土曜日の午前中、プラス例会が持たれてきました。4年を経て、順調にプラスを楽しむ会員も増えてきました。会場は城山文化センターで開かれていた時もありましたが、このところ毎回第二文化センターが取れています。

プラスを始めてみて、MSの大切さがしみじみ判りました。MSを定義どおり、確実に動ける（もっと元にはベイスックがある訳ですが）事が基礎になっているのです。なんとなく踊っていたことが、そうか、そうかと明らかになり、プラスのより複雑な動きが判っていくのは、楽しいものです。でも頭では判っていても、身体はそのとおりにはいきません。市村さんの辛抱強いご指導で、スムーズに踊れるように頑張っています。今年は新人がありませんでした。MSを踊り込み、次のステップを目指す方、ぜひ一緒に始めましょう。

21年度 HH 後半主要行事予定(2010年1月～3月) (総務担当)

スケジュール(クラブ、都連)

1)新年会	22年1月6日	福寿庵
2)東京ジャンボリー	22年1月11日	東京体育館
3)Tokyo Teacup Party	22年2月7日	府中ルミエール
4)Do Sa Doパーティー	22年3月13日	駒沢体育館
5)文化センター祭り	22年3月14日	例会場
6)28回アニバーサリー	22年3月22日	市総合体育館
7)ビギナー募集	22年4月	例会場

編集後記

踊り込み研修も無事終わりました。すばらしい講師、良い会場、そして姉妹クラブの多くの方々のご参加をいただいて、実のある研修になりました。パーティーのような雰囲気、とても楽しく、苦手克服ができました。その後の例会では、格段に(?)動きが良くなりましたね。今回も多くの方のご協力で、発行できました。ありがとうございました。(さ)

今年度よりビギナー募集をアニバーサリー終了後の4月より行う事になりました。担当の方は、広報紙、新聞掲載、チラシ作成等多忙と為りますが宜しくお願いします。